

「将来、西田先生のような保守政治家になるには？」

●サトシさんからの質問

始めまして西田先生。私は将来先生のような保守派の政治家になりたいと思っていますのですが、そのためにはやはり東大を出て官僚になり、そこから政治家になる方法が一番いいのでしょうか？私的な事ではありますが、お答え頂ければ幸いです。

●吉次さんからの質問

僕は意思が弱く馬鹿です。27歳になっても親に心配をかける親不孝ものです。西田先生を見ると昔に学んだ言葉を思い出します。「過去の自分が今の自分を造り今の自分が未来の自分を創る」何故、あれだけの行動ができたのか？僕が同じ立場なら逃げます。27歳の時、何を思い決意し絶望し行動したか？僕が27歳になったので20代の時に西田先生が決意したことを知りたくなり質問した次第です。

●西田昌司の答え

政治家になりたい方には「おやめなさい」と言いたいです。政治家はなるべき職業ではないし、普通の生活をしている方が余程よいです。私は政治家になるつもりはありませんでしたが、たまたまなっていました。政治家になると、大変なことが沢山あります。わざわざそのような世界に入ることもないと思います。また、政治家になるのに東大を出て官僚になる必要があるかについてですが、官僚を使いこなすには官僚を上回る知見が必要です。官僚を経て政治家になる人もいますし、そのような方は非常に有能ですが、政治家には官僚の枠を超えた発想が必要です。人生の浮き沈み・辛酸を経験するのも大事ですし、いろいろな経験をした後に、結果的にたまたま選ばれ

ることもあるかもしれない、くらいに考えておいたらどうでしょうか。政治家を目指すのではなく、10代にふさわしい生き方を一生懸命に頑張ればよいのだと思います。

27歳の方は、どのような経過なのかはわかりませんが、逆に自信を無くし過ぎです。私が27歳の頃といえば、ちょうど税理士として開業して、結婚した直後くらいでした。あの頃は何も考えておらず、政治家になるつもりもありませんでした。しかし、親のすねをかじることなく生きたいとは思っていました。私の家族は大家族で、サラリーマンだけでは不安に思いましたが、事業をやる会社もありませんでしたので、資格を取って税理士になりました。他人の税金を計算して、経営指導をする等の大事な仕事が沢山ありました。しかし、税理士としてそこそこやっていけるようになると、退屈を感じるようになり、そんな頃に政治の世界に引きずり込まれました。政治家になってからも、何をすべきか良くわからないまま一つ一つ積み上げてきた結果が、今の私だということです。

10代と20代のお二人にお答えしますが、人生には思い込みで頑張ったり、頑張っても落胆する結果になったりと、いろいろなことがあります。そのようなことを肥やしとして乗り越えて行かなければなりません、何の為に生きているのか、という疑問も浮かびます。そのような疑問とそれに対する答えを見つけることを繰り返して、年月が経って気が付くと、私も今の立場になっていました。今若い方も、20～30年経つと同じような気持ちになられるだろうと思います。若い頃の希望や落胆は誰でもありますし、仕方のないものです。私もいろいろとありました。若い方には「頑張ってください」というメッセージを送ることで、本日の質問の答えとさせていただきます。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>